

令和2年度 「ハッピー♥スマイル」 第4回開催報告

- 【日時】 令和3年1月17日（日）13:00～
【場所】 浅口市健康福祉センター
ボランティア研修室
【参加者】 保護者5名 子供2名 救急救命士1名
医師1名 養護教諭1名



1 開 会

2 アレルギー情報提供（高山より）

① 令和3年1月15日 時事メディカル

『専門医の指導下で「食べて治す」子どもの食物アレルギー』

佐藤さくら先生（国立病院機構相模原病院臨床研究センター）

「原因となる食べ物を必要以上に除去すると、食事の偏りで栄養不足、成長障害を招く恐れもある。成長に合わせ、負荷試験で確認した症状の出ない範囲で少しずつ食べた方がよいというのが、最近の治療の考え方だ。但し、自己判断は危険。必ず専門医の指導に従うこと」と佐藤医師は強調する。「平成29年の全国調査では特に小さい子どもにクルミのアレルギーが増加していると分かった」と佐藤医師。消費者庁もクルミのアレルギー表示について、「推奨」から「義務」（特定原材料に含める）へと変更することを検討中である。

② アレルギー講演会のお知らせ ▼主催：公益財団法人日本アレルギー協会

【テーマ】第27回アレルギー週間記念フォーラムオンライン講演会

～患者さんと家族のための分かりやすいアレルギー疾患の予防と治療～

○令和3年2月14日（日）14:00～15:10

○令和3年2月21日（日）14:00～15:10

【料金】参加無料【申し込み】事前申込制

【その他】▼お問合せ先

第27回アレルギー週間記念オンライン講演会事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-9-6 7階（株式会社ヒト・コミュニケーションズ内）Tel：03-5957-3958 / E-mail：japan-allergy@hitocom.com

○令和2年度都民アレルギー講演会の動画を公開しました。

下記のリンクから動画をご覧ください。

テーマ：「学んで活かそう！アトピー性皮膚炎と上手に付き合うコツ」

講師：講師：福家 辰樹 氏（国立成育医療研究センター

アレルギーセンター 総合アレルギー科医長）

配信期間：令和2年12月17日（木曜日）から令和3年3月31日（水曜日）

リンク：都民向けアレルギー講演会

○藤田医科大学総合アレルギーセンター 「アレルギーを動画で学ぶ部屋」

愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会事業として行った講演会や、当センターが作成したアレルギー疾患に関わる代表的な検査方法、代表的なアレルギー疾患の総論、エピペン講習会などの動画を集めました。自己学習としてぜひご利用ください。

講演会情報

NPO法人ピアサポート F.A.cafe 主催 / 豊沢市・豊沢市教育委員会 後援 (申請中)
小児食物アレルギー オンライン講演会

コロナ禍の食物アレルギー 新年度を迎える子どもたち Online



参加無料 令和三年 2月27日(土) 14:00 - 15:30
講演:1時間、質疑応答:30分予定



講師 福家辰樹 先生

国立成育医療研究センター 総合アレルギー科医長
日本小児科学会指導医 日本アレルギー学会指導医

お申し込みは
ピアサポートF.A.cafe HPより

国立成育医療研究センターで長く診療に携わっている先生です。
優しいお人柄で患児自身を励まし直接語り掛けてくださいます。

本講演会の開催は、NPO法人ピアサポートF.A.cafeの助成を受けています。

令和2年度「保育所等におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会」



アレルギー疾患講習会

主催 国保連・保育所職員・地方公共団体職員、保育及び教育の現場に携わる方など

開催日 令和3年 2月26日(金) オンライン開催
15:00 - 17:00(開場 14:30)
見直し開催: 2月27日(土) 10:00 - 22:00

定員 1,000名
参加費 無料



講師 今井孝成 先生

(国立成育医療研究センター)
「世界一受けたい授業」『すくすく子育て』『今日の健康』など
日本人気児童アレルギー専門チャンネルの番組に出演中。

主催:厚生労働省 / 独立行政法人環境再生保全機構
後援:国保連、一般社団法人日本アレルギー学会 / 一般社団法人日本小児アレルギー学会 / 一般社団法人日本保育保健講習会

3 情報交換

○最近の受診の状況について

- ・新型コロナ感染症の影響で受診抑制がかかっている。県外専門医の受診ができないために、近医で、内服や吸入・点鼻、軟膏を処方してもらっている。
- ・オンライン診療を受けているが、負荷テストは延期している。
- ・12月負荷テストのため県外の病院に行った。負荷テストに向けて、毎日体温測定、外出自粛を一定期間したのちに、PCRテストで陰性を確認して、負荷テストを受けた。
- ・負荷テストにより食べられる物は増えていたが、受診できないため少し後退している。現在は、親子で小休止の状態となっている。

○その他

- ・宿泊研修時、管轄の消防署への連絡をしたが、学校から一報を先に入れてくれたら、保護者が連絡する場合、かけやすいのではないかと思った。
- ・学校におけるアレルギー対応は、管理職によって対応が違ってくる。
- ・ある市町村では、アレルギー対応について教育委員会に問い合わせをしても回答してくれない。しかしながら、いろいろな人の支援により昨年10月より給食提供してもらっている。

参考

★福家先生（国立成育医療研究センター）の講演より

- ・コロナの影響としては、ウイルス感染症が減り、またマスク・手洗い・うがいなどの効果もあってか喘息で救急外来を受診したり、発作で入院する子供は激減している。
- ・外出自粛もありアレルギー性鼻炎・花粉症などのコントロールは良いとのこと。但し、アトピーについては受診抑制で、きちんと内服やスキンケアができないことで、夏場には悪化した患者さんが多かった。
- ・食物アレルギーについては、受診抑制や、負荷テストの制限で治療が進まなかった。また、エピペンの処方も少なかったとのこと。オンライン診療とかもあるのでできるだけ治療を継続してほしい。とのことだった。



今回は、令和3年3月21日(日) 浅口市健康福祉センターで開催します。情報交換の予定です。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止するかもしれません。事前にホームページでの確認をお願いします。

(浅口医師会 高山 晴彦)